

大使館情報

2022年1月

【目次】

1. ブラジル・マクロ経済情勢

- (1) 経済情勢
- (2) 経済政策等
- (3) 金融政策
- (4) 為替市場
- (5) 株式市場

2. ブラジル政治情勢

[内政]

- (1) ボルソナーロ政権の支持率
- (2) 新社会保障制度「アウシリオ・ブラジル」の2回目の給付
- (3) メンドンサ連邦最高裁判所判事の就任
- (4) 2022年予算法案の議会承認
- (5) バイア州の洪水被害に対する軍の活動

[外交]

- (1) 日伯外相電話会談の実施
- (2) ボルソナーロ大統領の米国主催の民主主義サミットへの出席
- (3) 伯印安保理協議の開催
- (4) メルコスール首脳会合の開催
- (5) 伯チリ関係

3. トピックス

- (1) 林大使によるマガリャイス外務次官に対する信任状写しの提出
- (2) BNDES を招いた民営化投資セミナーの開催（在リオデジャネイロ総領事館）

4. 大使館からのお知らせ

- (1) 文化イベント
- (2) 外務省海外安全ホームページ
- (3) ブラジル渡航情報

1. ブラジル・マクロ経済情勢

(1) 経済情勢（12月発表の経済指標）※貿易収支は1月発表。

- (ア) 10月の鉱工業生産指数は前月比▲0.6%、前年同月比▲7.8%となった。
- (イ) 10月の小売売上高は前月比▲0.1%、前年同月比▲7.1%となった。
- (ウ) 11月の拡大消費者物価指数（IPCA）は前月比+0.95%となり、前月（1.25%）から上昇幅は0.3%ポイント縮小。直近12カ月累計は+10.74%となり、前月（同+10.67%）から上昇幅は0.07%ポイント拡大。
- (エ) 失業率（2021年8～10月）は12.1%となり、3か月前（5～7月）の移動平均13.7%から1.6%ポイント低下した。また前年同期比（2020年8～10月）の14.6%から2.5%ポイント低下した。
- (オ) 2021年12月の貿易収支は39.5億ドルの黒字。2021年（1～12月）の累計は610億ドルの黒字。
- (カ) 伯中央銀行が週次で発表しているエコノミスト等への調査（Focus調査）について、12月31日時点で、GDP成長率予測については、2021年は4.50%（前週から0.01%ポイント低下）で、2022年は0.36%（前週から0.06%ポイント低下）となった。インフレ率については、2021年は10.01%（前週から0.01%ポイント低下）で、2022年は5.03%（前週から変わらず）となった。

(2) 経済政策等

- (ア) 12月2日、新たな社会保障制度アウシリオ・ブラジルに係る暫定措置法が上院において承認、30日に大統領が裁可した。7日には最低給付金額を400リアルとする暫定措置法が公表され、10日から同金額での給付が開始された。
- (イ) プレカトリオの分割払い等に係る憲法修正案について、上院未修正部分が12月8日に、上院修正部分が下院での承認を経て16日に公布された。
- (ウ) 12月21日、2022年予算法案が議会で承認された。

(3) 金融政策

12月7日及び8日に開催された伯中央銀行金融政策委員会（Copom）において、政策金利であるSelic金利を150bp引き上げて9.25%とすることが決定された。政策金利の引上げは7会合連続（3、5、6、8、9、10、12月）。次回会合は2月1日及び2日に開催予定。

(4) 為替市場（レートは伯中銀の公表値）

- (ア) 12月の為替市場は5.56～5.74リアル/ドルで推移。
- (イ) 月の前半は5.56～5.71リアル/ドルで推移。オミクロン株の感染がブラジ

ル国内で確認されたことや感染拡大による経済への影響が懸念された他、米国金融緩和縮小を巡る動向等を材料にリアル安傾向となった。

(ウ) 月の後半は 5.58～5.74 レアル/ドルで推移。オミクロン株拡大への懸念等からリアル安となる一方で、2022 年予算案の議会承認や財政状況の好転等を背景にリアル高となる動きが見られた。

(5) 株式市場

(ア) 12 月の株式市場は 100,775～108,326 ポイントで推移。

(イ) 月の前半は 100,775～107,758 ポイントで推移。プレカトリオに係る憲法修正案の議会可決等を材料に上昇傾向となるが、オミクロン株の感染拡大による影響や、米国金融緩和縮小の動向等を材料に上下する展開。

(ウ) 月の後半は 104,107～108,326 で推移。オミクロン株拡大への懸念等を背景に下落傾向となった。

2. ブラジル政治情勢 (12 月の出来事)

【内政】

(1) ボルソナーロ政権の支持率

12 月 17 日、ダッタフォーリャ社による世論調査の結果が発表されたところ、ボルソナーロ政権の支持率は 24% (前回の同社調査 : 24%)、不支持率は 53% (前回調査 : 53%) であった。

(2) 新社会保障制度「アウシリオ・ブラジル」の 2 回目の給付

12 月 2 日、議会にて、アウシリオ・ブラジルに関する暫定措置法が承認され、10 日、最低給付額が月額 400 レアルに引き上げられた上で、2 回目の給付が開始された。

(3) メンドンサ連邦最高裁判所判事の就任

12 月 16 日、アンドレ・メンドンサ前連邦総弁護庁長官の連邦最高裁判所判事就任式典が開催された。同判事は就任演説の中で「憲法、民主主義及び報道の自由を守り、伯の司法に資することを約束する」と述べた。

(4) 2022 年予算法案の議会承認

12 月 21 日、2022 年連邦予算法案が議会にて承認された。歳出の合計は 4 兆 7160 億レアル。財政赤字額は 793 億レアル。なお、新社会保障制度「アウシリ

オ・ブラジル」に 890 億リアル、選挙基金に 49 億リアル、政党基金に 11 億リアルが計上されている。

(5) バイアーア州の洪水被害に対する軍の活動

バイアーア州の洪水被害対処のため、12 月 11 日から陸・海・空軍が被災地への物資輸送の活動を実施。12 月 31 日までの集計で、食料・水・医薬品などを、総計 200 トン以上を輸送。

【外交】

(1) 日伯外相電話会談の実施

12 月 7 日、林外務大臣とカルロス・フランサ伯外相間で日伯外相電話会談が実施された。会談では、両国が基本的価値を共有する「戦略的グローバル・パートナー」でとして、今後とも二国間関係及び様々な国際課題について連携していくことが確認された。

(2) ボルソナーロ大統領の米国主催の民主主義サミットへの出席

12 月 9 日、ボルソナーロ大統領は米国主催の民主主義サミット(オンライン)へ参加し、同サミットが、民主主義の擁護、汚職対策及び人権と基本的な自由の保護という伯の公約を刷新する機会である旨演説した。

(3) 伯印安保理協議の開催

11 月 4 日、2022 年に安保理非常任理事国の議席を共にする伯印間で安保理協議が対面で開催された。グプタ印外務省国連政務局長率いる一行が訪伯し、伯外務省側のヘッドは、プッチ国連局長が務めた。伯印両国は、安保理における優先事項を共有した。

(4) メルコスール首脳会合の開催

12 月 17 日、ブラジルが議長国を務め、第 59 回メルコスール首脳会合がオンライン形式で開催された。同会合にて、パラグアイがブラジルから議長国を引き継いだ。会合後、(ウルグアイは参加しない形で、)アルゼンチン、ブラジル、パラグアイの 3 カ国による共同声明が発出された。共同声明では、メルコスール関税同盟を強化するための手段として対外共通関税の改正へのコミットメントが強調され、第三国・地域との通商協定について、例えば、EU との自由貿易協定署名に向け、最大の意欲をもって取り組むこと等再確認しつつ、各パートナーとの交渉の進捗が明記された。また、共同声明の中で、インドネシアに関して、予備的対話の終了と自由貿易協定の交渉の開始の言及があった。

(5) 伯チリ関係

12月23日、伯外務省は、12月19日の決選投票で勝利したガブリエル・ボリッチ次期チリ大統領にプレスリリースにて祝意を表明した。

3. トピックス

(1) 林大使によるマガリャイス外務次官に対する信任状写しの提出

12月9日、林禎二大使は外務省にマガリャイス外務次官を訪問し、信任状写し及び山田前大使の解任状写しを手渡した上で会談を行った。この会談は、3日に着任した林大使によるブラジルにおける最初の外交活動となる。

会談において林大使は、中南米局長を務めた際にも、1月の茂木大臣（当時）のブラジル訪問に同行するなど、伯外務省関係者ととともに日伯関係の強化に努めてきたこともあり、今回、ブラジリアでこうした友人と共に仕事ができることを楽しんでいると述べた。また、12月7日に実施された日伯電話外相会談に言及しつつ、よりハイレベルな会談の実現といった二国間関係の強化を目指すとともに、マルチでの協力として、安保理における協力や2020年に開始した日米伯協議（JUSBE）にも言及しつつ、ブラジルと緊密に連携していきたいと述べた。

これに対して、マガリャイス外務次官からは、林大使の着任を歓迎し、よりハイレベルな会談実現のための土台を作り、国連等での緊密な協力、また日メルコスールEPA交渉開始の可能性を追求等について発言があった。



マガリャイス外務次官と林大使

(2) BNDES を招いた民営化投資セミナーの開催（在リオデジャネイロ総領事館）

12月17日（金）、ブラジル国立経済社会開発銀行（BNDES）役員らによる民営化案件に関する投資セミナーをオンラインで実施。当日はリオデジャネイロのみならず、サンパウロ等のブラジル他地域並びに日本からも多数の日本企業関係者が参加。講演では、BNDES が推進するブラジル公共事業の民営化案件について解説が行われたほか、同行による企業支援プログラムについても説明がなされた。



BNDES による講演の様様



大使による開会挨拶



案内用チラシ

4. 大使館からのお知らせ

(1) 文化イベント

(ア) 国際交流基金巡回展「美しい東北の手仕事」（在ブラジル大使館）

日時：1月11日～1月30日 9時～19時

場所：CAIXA Cultural, Lotes 3/4, SBS Q. 4 - Asa Sul, Brasília - DF, 70092-900

内容：2011年3月11日に東北地方で発生した大地震と津波から1年という節目に企画された展覧会。美しい東北の手仕事を取り上げ、現代の日本において文明が進み忘れ去られかけている古代からの営みである手仕事の美しさを紹介します。陶芸、漆芸、染織、金工、木竹工など、多岐に渡るジャンル作品で構成されています。

(イ) 2022 日本映画祭 (在ブラジル大使館)

日時：1月18日～30日

場所：CCBB Brasília, Asa sul Trecho 2 - Brasília, DF, 70200-002

内容：日本映画12作品を二週間に渡って上映します。上映作品は、「PARKS」、「いちごの唄」、「恋のしずく」、「夜空はいつでも最高密度の青色だ」、「ポップンQ」、「テルマエ・ロマエ」、「幼獣マメシバ」、「パパのお弁当は世界一」、「武士の献立」、「日々是好日」、「雲の向こう、約束の場所」、及び「カッパの三平」となります。(※上映チケットは1回5レアルとなります。)

(ウ) 「日本企業に関する動画配信事業：ブラジルトヨタ」 (在サンパウロ総)

日時：12月27日以降公開中

サイト：<https://www.youtube.com/watch?v=HrMa-0UJqtk>

内容：日本企業の活動を紹介する動画シリーズの第一弾として、桑名総領事がトヨタのGAZOO Racing を視察した様子の記録映像を配信します。

(2) 外務省 海外安全ホームページ

(ア) 各国の危険情報や安全対策等海外赴任、出張及び旅行をする際の留意点を公開している。

<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

(イ) 世界各国の在外邦人に対して最低限必要な安全対策を周知することを目的にした「ゴルゴ13の中堅・中小企業向け海外安全対策マニュアル」を公開している。2021年3月、新型コロナウイルス感染症の感染症とテロといった複合的なリスクへの対処の必要性を伝えるため、番外編として「感染症流行下の安全対策」を追加する増補版を公開した。

https://www.anzen.mofa.go.jp/anzen_info/golgo13xgaimusho.html

(ウ) 各在伯公館が「在外邦人向け安全の手引き ブラジル」を作成し公開している。

https://www.anzen.mofa.go.jp/manual/brazil_manual.html

(エ) 各公館で四半期毎に「海外安全対策情報」を公開している。在伯大使館の情報(令和3年度第2四半期)は以下のリンク先から。

https://www.br.emb-japan.go.jp/itpr_ja/kaigai_anzen_taisaku.html

(3) ブラジル渡航情報

(ア) 危険情報

最新更新日：2020年6月25日

http://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcinfectionsbothazardinfo_259.html

以下の地域が「レベル1：十分注意してください。」となっている。

- ・ブラジリア連邦区
- ・サンパウロ州大サンパウロ圏及びカンピーナス市
- ・リオデジャネイロ州大リオ圏
- ・アマゾナス州大マナウス圏
- ・ロライマ州北部
- ・パラ州大ベレン圏
- ・ペルナンブコ州大レシフェ圏
- ・バイーア州大サルバドール圏
- ・セアラ州大フォルタレーザ圏
- ・エスピリトサント州大ビトリア圏
- ・パラナ州大クリチバ圏
- ・リオ・グランデ・ド・スル州ポルトアレグレ市

(イ) 安全対策基礎データ

最新更新日：2020年8月6日

https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcsafetymeasure_259.html

主要各州、都市毎の犯罪発生状況、防犯対策及び滞在時の留意事項等に加え、査証、出入国審査及び新型コロナウイルス関連情報や大使館、総領事館の緊急連絡先を公開している。

(ウ) テロ・誘拐情勢

最新更新日：2019年6月10日

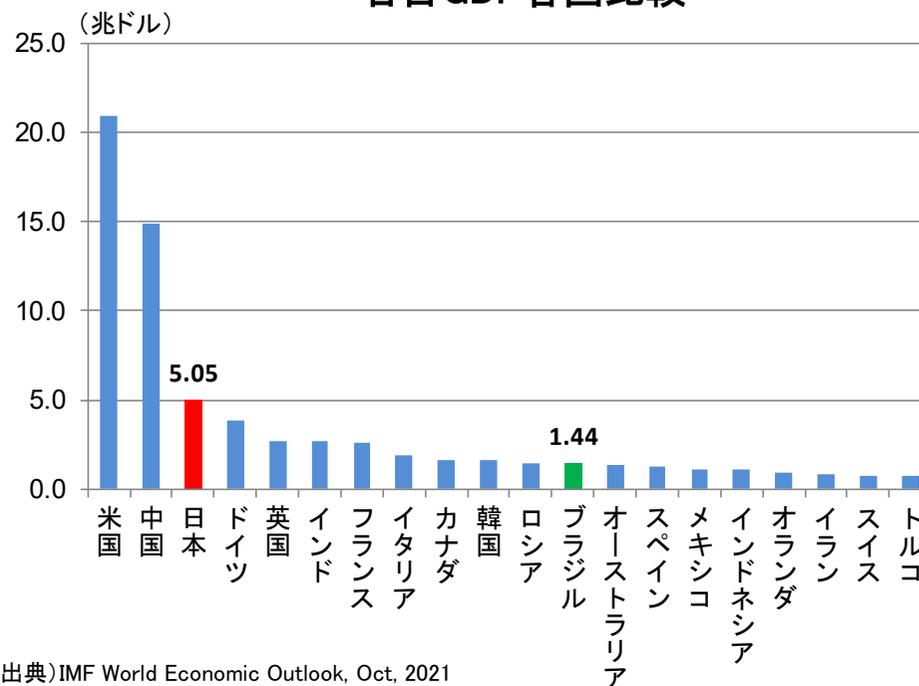
https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcterror_259.html

ブラジル経済・二国間経済関係概観

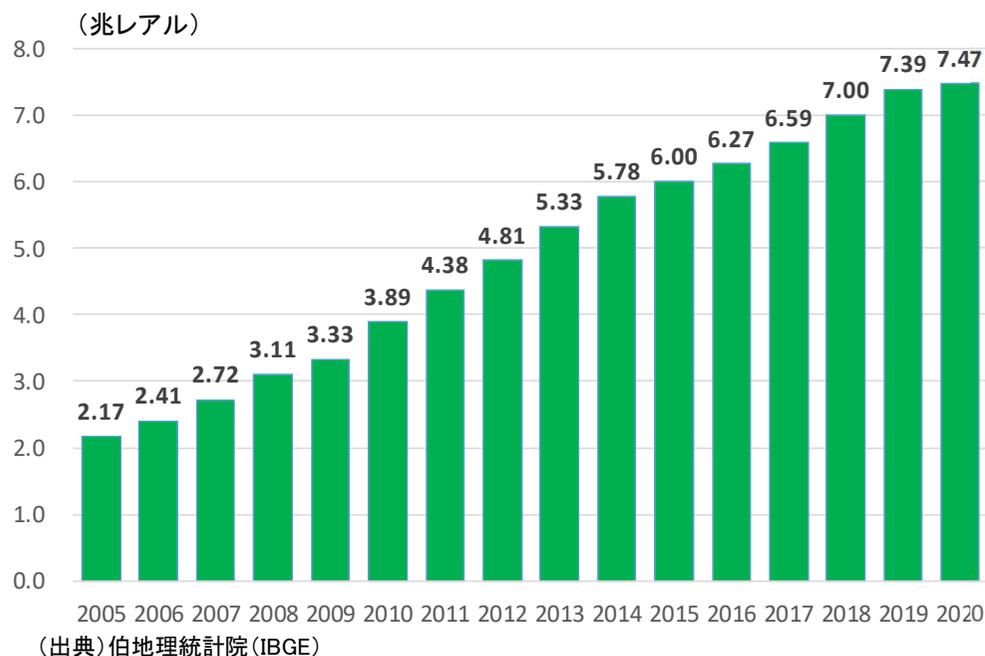
1. 経済構造

1. 人口約2億1,176万人、面積約851万km²(2020年)
2. 世界第12位の経済規模(名目GDP約1兆4,447億ドル(2020年):日本の約29%)。一人当たりGDP(約6,823ドル(2020年))は、日本の約17%。
3. 世界有数の農業・資源国であるが、産業別国内総生産(GDP)額では第三次産業(サービス業)が高いウェイトを占めている。
4. GDPを需要項目別でみると、家計消費や総固定資本形成(投資)といった内需が成長に寄与している。

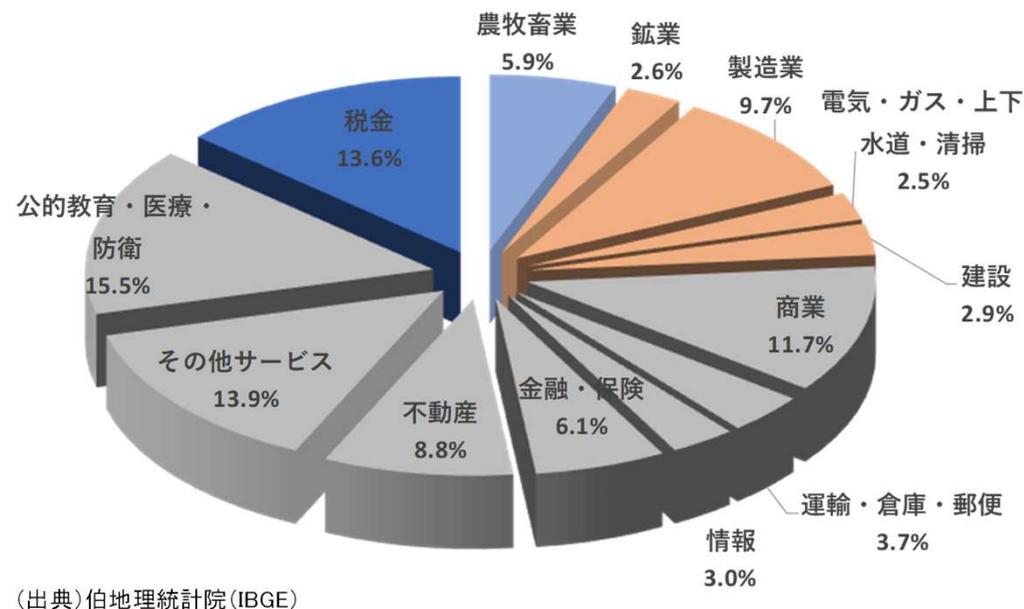
名目GDP各国比較



名目GDPの推移

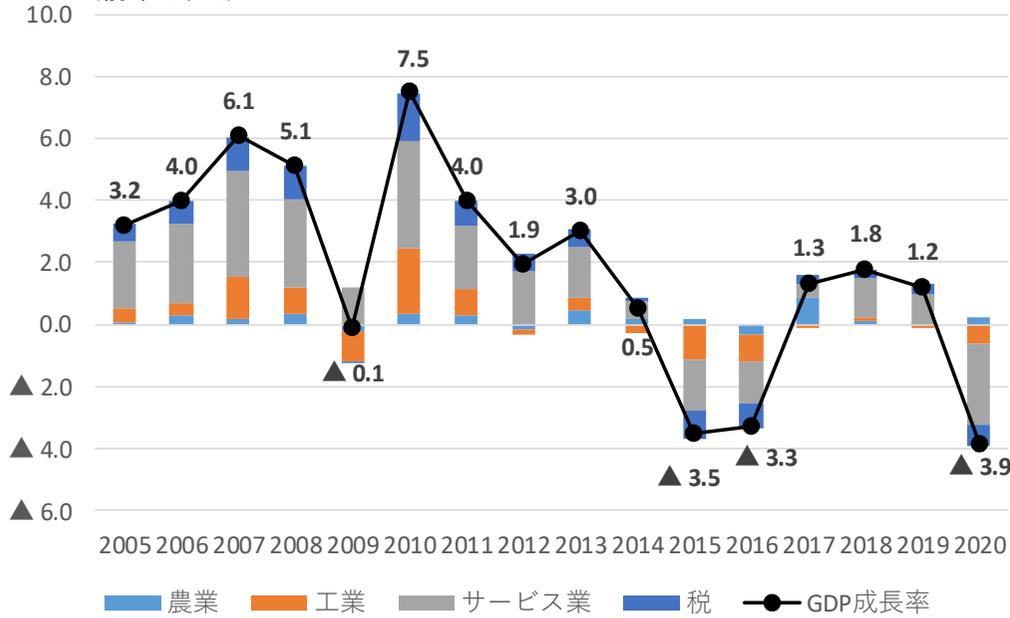


名目GDPの産業別構成比(2020年)



実質GDP成長率と産業別寄与度の推移(暦年)

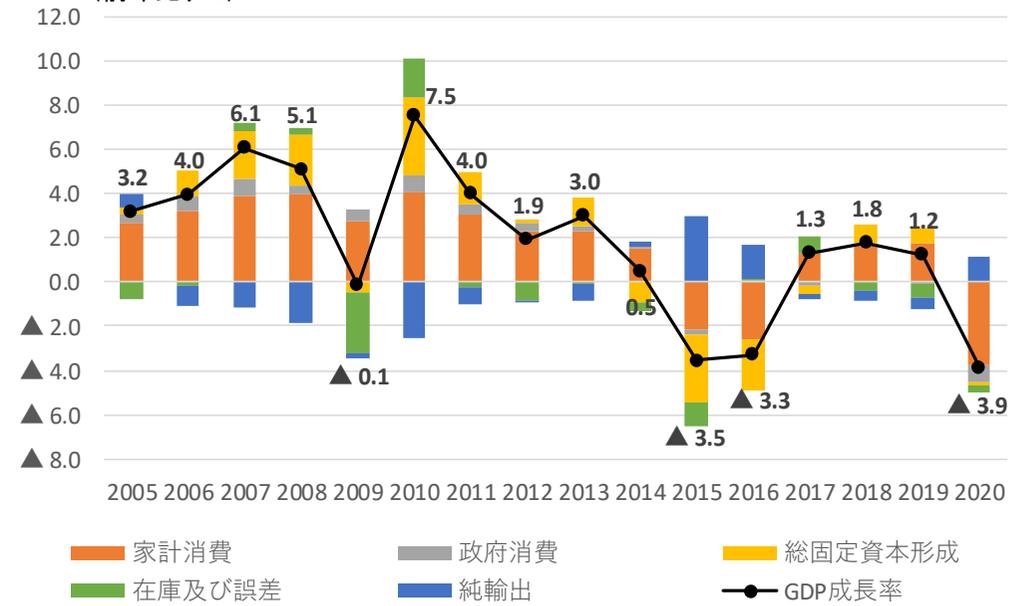
(前年比、%)



(出典) 伯地理統計院 (IBGE)、産業別寄与度はIBGE公表値から当館にて試算

実質GDP成長率と需要項目別寄与度の推移(暦年)

(前年比、%)

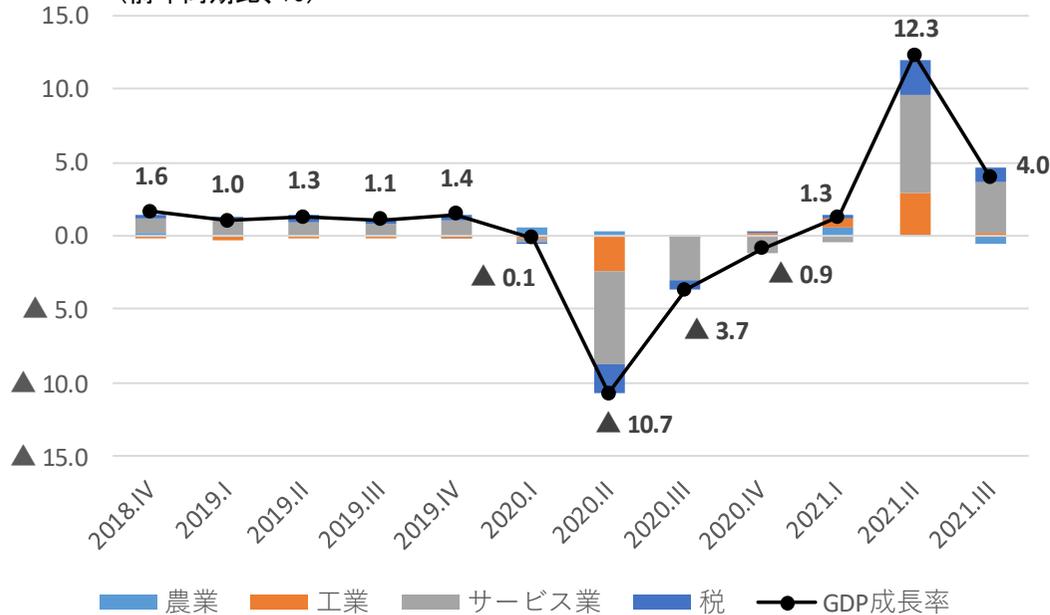


(出典) 伯地理統計院 (IBGE)

※需要項目別寄与度はIBGE公表値から当館にて試算、在庫及び誤差はGDP全体から各需要項目を除いたもの

実質GDP成長率と産業別寄与度の推移(四半期)

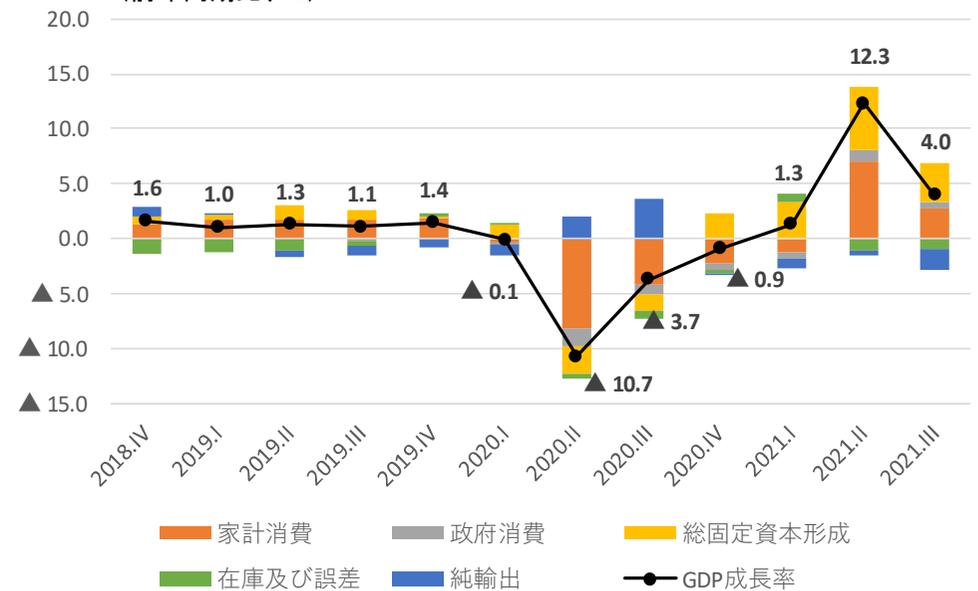
(前年同期比、%)



(出典) 伯地理統計院 (IBGE)、産業別寄与度はIBGE公表値から当館にて試算

実質GDP成長率と需要項目別寄与度の推移(四半期)

(前年同期比、%)



(出典) 伯地理統計院 (IBGE)

※需要項目別寄与度はIBGE公表値から当館にて試算、在庫及び誤差はGDP全体から各需要項目を除いたもの

II. 経済の現状

ブラジル地理統計院 (IBGE) が12月に発表した2021年第3四半期のGDP成長率は、前期比▲0.1% (2四半期連続のマイナス成長)、前年同期比+4.0% (3四半期連続のプラス成長) となった。

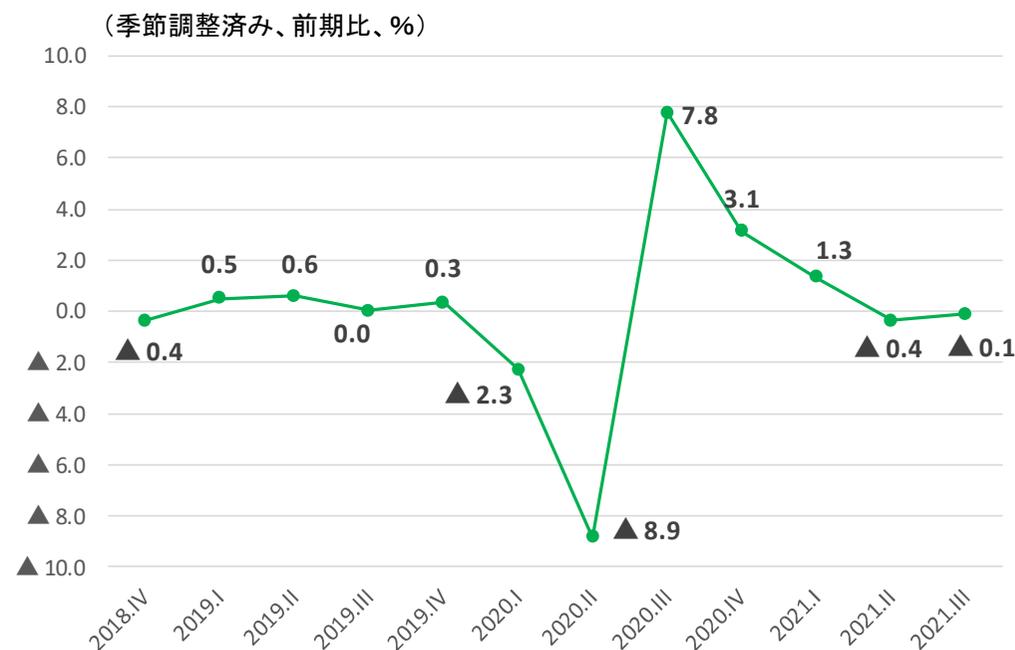
(%、括弧内の数値は寄与度)

| | | 前期比 (季調済) | | 前年同期比 (原数値) | |
|----------|--------------|--------------|---------|----------------|---------|
| 実質GDP | | ▲ 0.1 | | 4.0 | |
| 産業別 | 農業 | ▲ 8.0 | (▲ 0.6) | ▲ 9.0 | (▲ 0.6) |
| | 工業 | 0.0 | (▲ 0.0) | 1.3 | (0.2) |
| | 鋳業 | ▲ 0.4 | (▲ 0.0) | 3.5 | (0.0) |
| | 製造業 | ▲ 1.0 | (▲ 0.1) | ▲ 0.7 | (▲ 0.1) |
| | 電気、ガス、水道 | ▲ 1.1 | (▲ 0.0) | ▲ 4.6 | (▲ 0.1) |
| | 建設業 | 3.9 | (0.2) | 10.9 | (0.5) |
| | サービス業 | 1.1 | (0.7) | 5.8 | (3.5) |
| | 商業 | ▲ 0.4 | (▲ 0.0) | 2.8 | (0.2) |
| | 運輸、倉庫、郵便 | 1.2 | (0.0) | 13.1 | (0.3) |
| | 情報、通信 | 2.4 | (0.1) | 14.8 | (0.6) |
| 金融、保険 | ▲ 0.5 | (▲ 0.1) | ▲ 1.3 | (▲ 0.2) | |
| 不動産 | 0.0 | (▲ 0.0) | 1.7 | (0.2) | |
| その他サービス業 | 4.4 | (0.5) | 13.5 | (1.5) | |
| 公共サービス | 0.8 | (0.1) | 2.9 | (0.4) | |
| 需要項目別 | 家計消費 | 0.9 | (0.6) | 4.2 | (2.8) |
| | 政府消費 | 0.8 | (0.1) | 3.5 | (0.6) |
| | 総固定資本形成 | ▲ 0.1 | (▲ 0.0) | 18.8 | (3.4) |
| | 輸出 (財・サービス) | ▲ 9.8 | (▲ 1.5) | 4.0 | (0.6) |
| | 輸入 (財・サービス) | ▲ 8.3 | (▲ 1.2) | 20.6 | (2.4) |
| | 純輸出 (財・サービス) | - | (▲ 0.3) | - | (▲ 1.9) |

(出典) 伯地理統計院 (IBGE)

産業別及び需要項目別寄与度はIBGE公表値から当館にて試算したもの。

実質GDP成長率の推移(四半期)



(出典) 伯地理統計院 (IBGE)

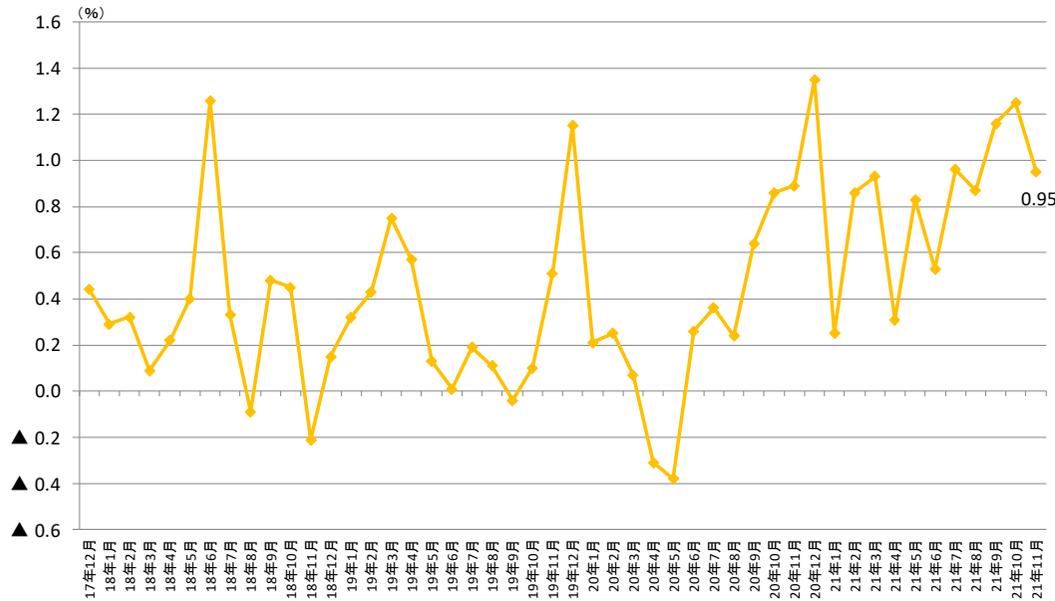
《各機関によるGDP成長率見通し》

| | 2021 | 2022 |
|---------------------------|--------|--------|
| IMF (2021年10月) | +5.2% | +1.5% |
| 伯経済省 (2021年11月) | +5.1% | +2.1% |
| 伯中銀 (2021年12月) | +4.4% | +1.0% |
| 伯中銀Focus (2021年12月31日) | +4.50% | +0.36% |

物価の動向

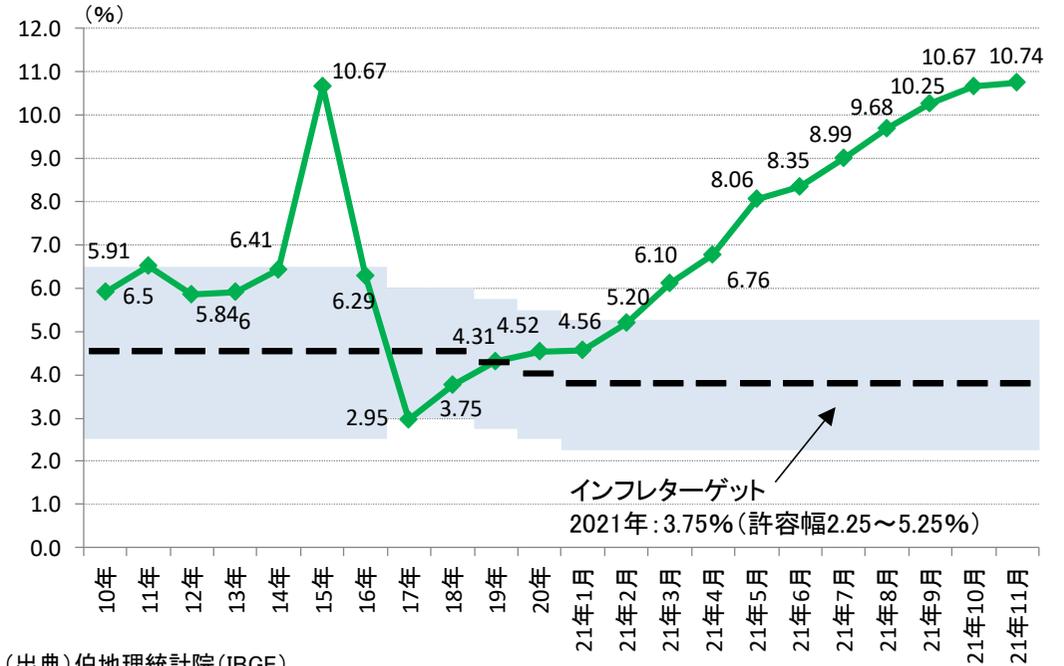
11月の拡大消費者物価指数(IPCA)は前月比+0.95%、直近12か月累計では10.74%となった。

拡大消費者物価指数(IPCA)上昇率の推移(各月)



(出典) 伯地理統計院 (IBGE)

拡大消費者物価指数(IPCA)上昇率の推移(12か月累計)

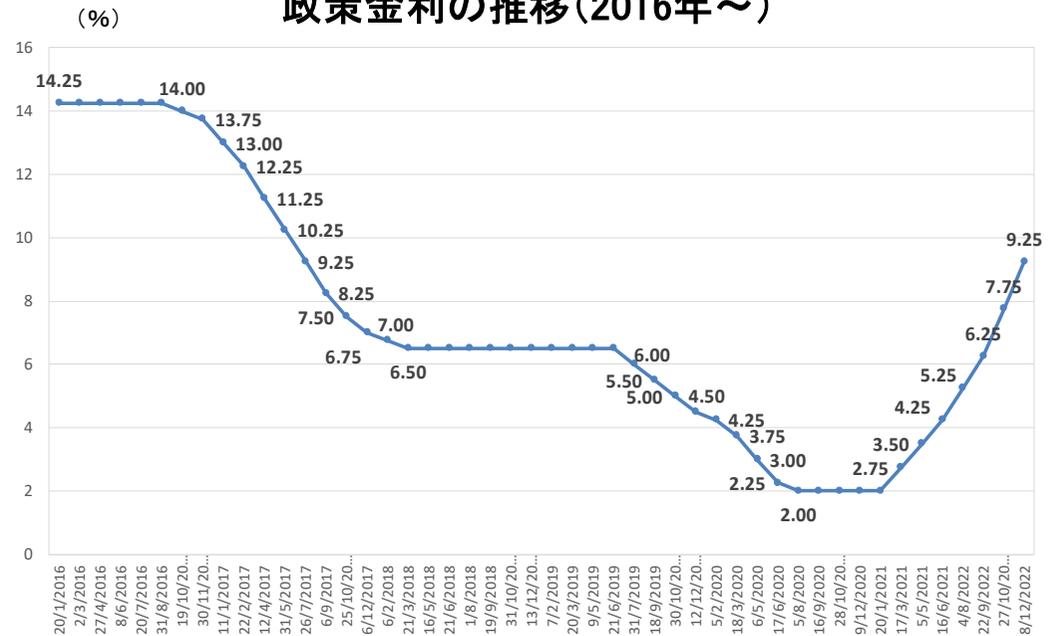


(出典) 伯地理統計院 (IBGE)

政策金利

12月7日及び8日に開催された伯中央銀行金融政策委員会 (Copom) において、政策金利であるSelic金利を150bp引き上げ9.25%とすることが決定された。政策金利の引き上げは7会合連続(3、5、6、8、9、10、12月)。次回会合は2月1日及び2日に開催予定。

政策金利の推移(2016年～)



(出典) 伯中央銀行 4

労働市場、消費、生産、財政収支の動向

失業率の推移(3か月移動平均)

失業率(2021年8~10月)は12.1%となった。



(出典) 伯地理統計院 (IBGE)

小売売上高指数の推移(月次)

小売売上高(10月)は前月比▲0.1%、前年同月比▲7.1%となった。

(2014年=100、季調済)



(出典) 伯地理統計院 (IBGE)

鉱工業生産指数の推移(月次)

鉱工業生産(10月)は前月比▲0.6%、前年同月比でも▲7.8%となった。

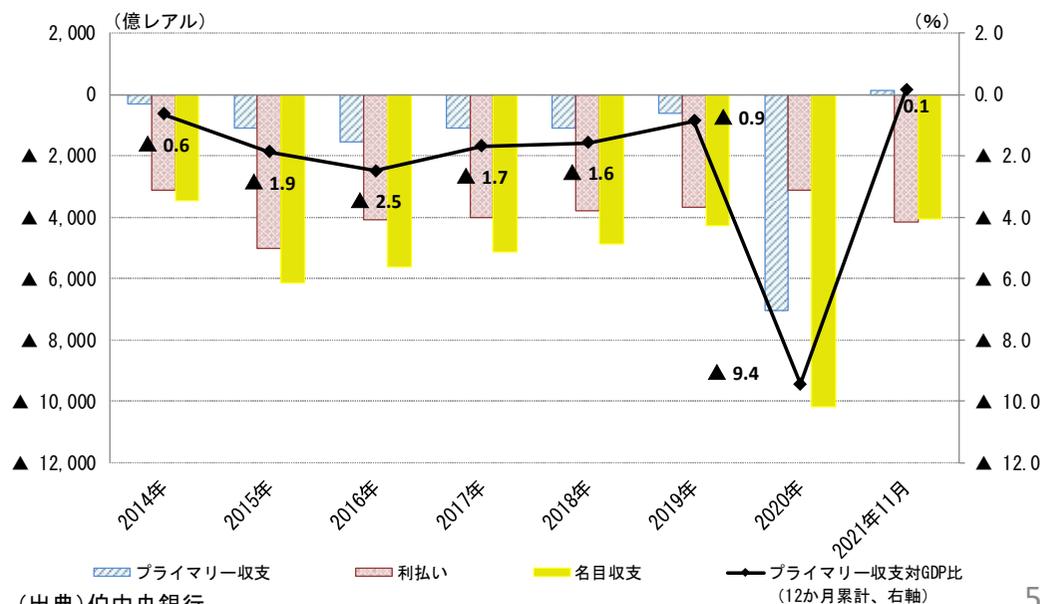
(2012年=100、季調済)



(出典) 伯地理統計院 (IBGE)

財政収支の推移

2021年11月のプライマリーバランスは+128億リアル、利払いは▲4,180億リアル、名目収支は▲4,052億リアルとなった。



(出典) 伯中央銀行

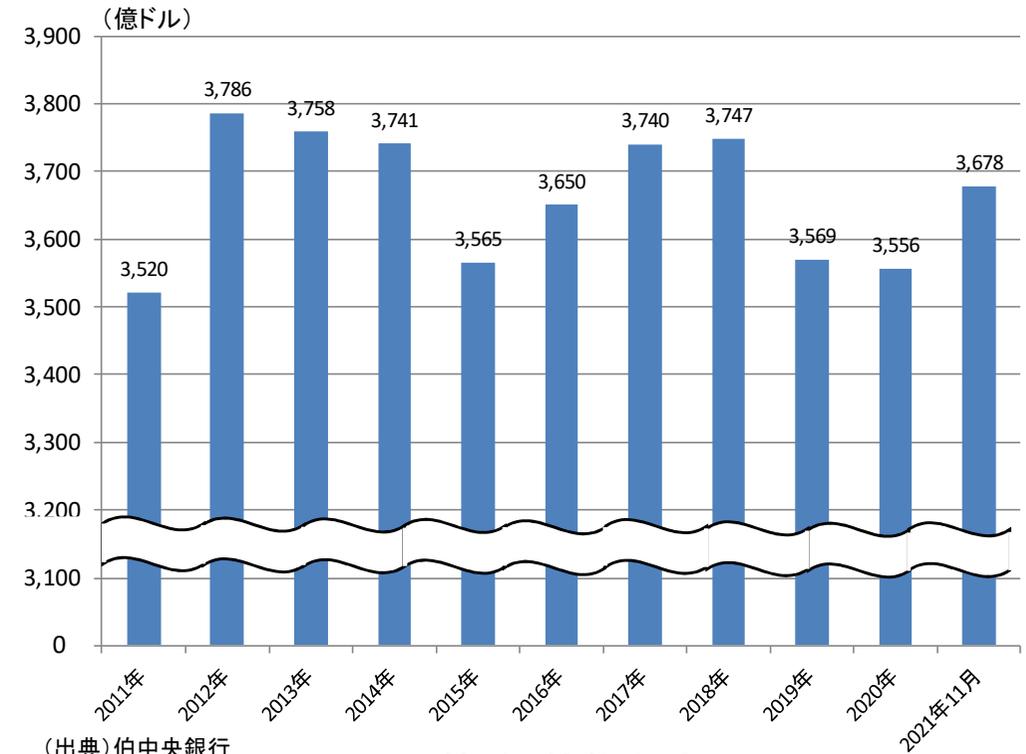
国際収支の動向

国際収支

| | 2016年 | 2017年 | 2018年 | 2019年 | 2020年 | 2021年 1-11月 |
|---------|-------|-------|-------|-------|-------|----------------|
| 経常収支 | ▲ 245 | ▲ 220 | ▲ 515 | ▲ 650 | ▲ 245 | ▲ 224 |
| 貿易収支 | 445 | 573 | 434 | 265 | 324 | 333 |
| サービス収支 | ▲ 306 | ▲ 383 | ▲ 360 | ▲ 355 | ▲ 209 | ▲ 152 |
| 第1次所得収支 | ▲ 415 | ▲ 432 | ▲ 588 | ▲ 573 | ▲ 383 | ▲ 436 |
| 第2次所得収支 | 31 | 21 | ▲ 0 | 12 | 23 | 31 |
| 資本移転収支 | 3 | 4 | 4 | 4 | 41 | 2 |
| 金融収支 | ▲ 161 | ▲ 171 | ▲ 523 | ▲ 644 | ▲ 125 | ▲ 248 |
| 直接投資 | ▲ 596 | ▲ 475 | ▲ 761 | ▲ 464 | ▲ 413 | ▲ 262 |
| 対外直接投資 | 147 | 213 | 20 | 228 | ▲ 35 | 242 |
| 対内直接投資 | 743 | 689 | 782 | 692 | 378 | 504 |
| 証券投資 | 200 | 177 | 69 | 192 | 129 | ▲ 49 |
| 金融派生商品 | ▲ 10 | 7 | 28 | 17 | 54 | ▲ 9 |
| その他投資 | 152 | 69 | 113 | ▲ 128 | 247 | ▲ 123 |

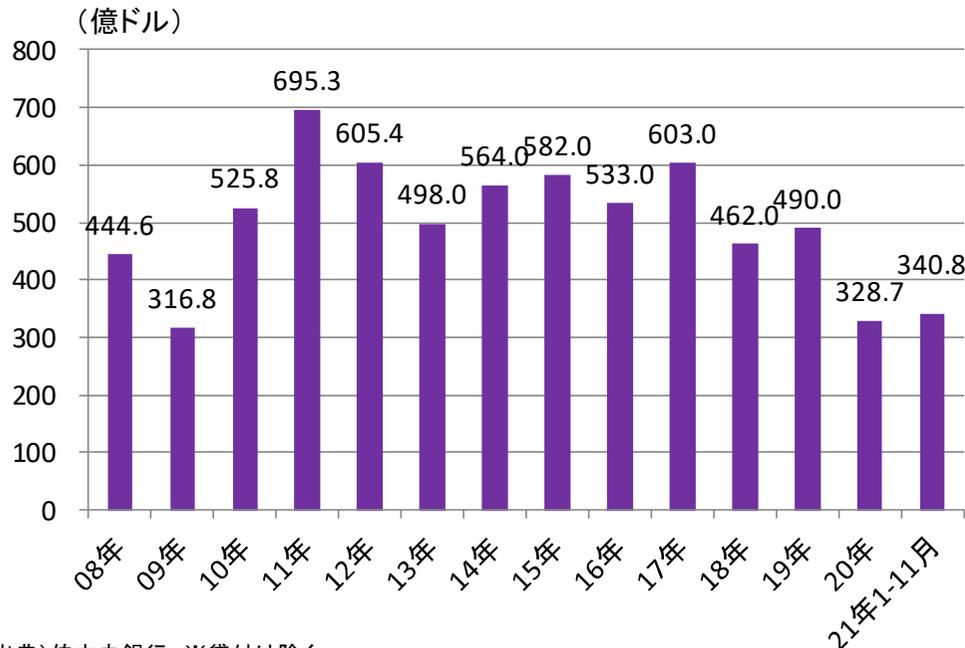
(出典) 伯中央銀行

外貨準備高



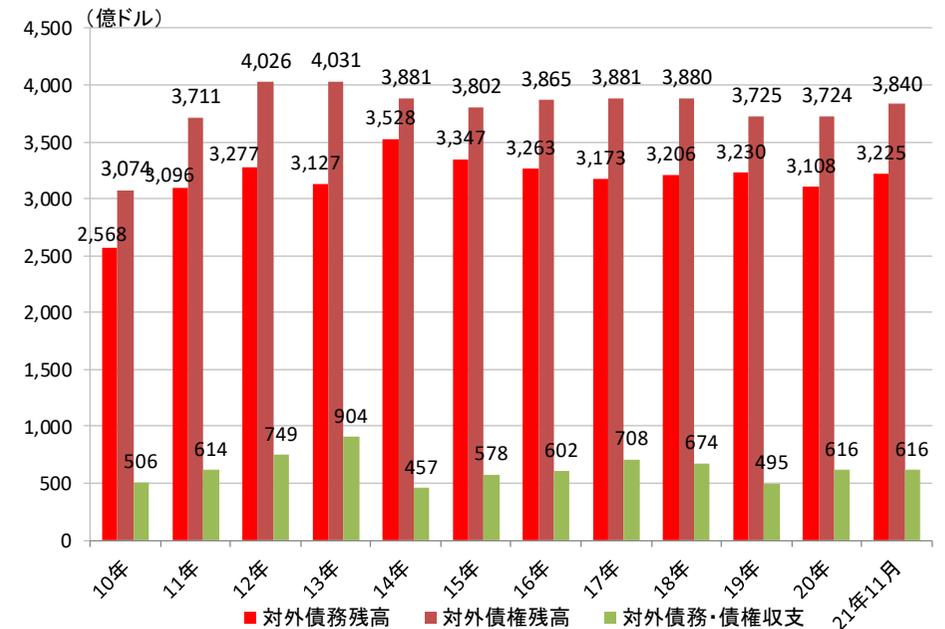
(出典) 伯中央銀行

外国直接投資(資本参加分)流入額



(出典) 伯中央銀行 ※貸付は除く

対外債務・債権収支



(出典) 伯中央銀行

為替・株価の推移

12月の為替市場は5.56～5.74リアル/ドルで推移。

月の前半は5.56～5.71リアル/ドルで推移。オミクロン株の感染がブラジル国内で確認されたことや感染拡大による経済への影響が懸念された他、米国金融緩和縮小を巡る動向等を材料にリアル安傾向となった。

月の後半は5.58～5.74リアル/ドルで推移。オミクロン株拡大への懸念等からリアル安となる一方で、2022年予算案の議会承認や財政状況の好転等を背景にリアル高となる動きが見られた。

為替の推移(対米ドル)



(出典) 伯中央銀行

12月の株式市場は100,775～108,326ポイントで推移。

月の前半は100,775～107,758ポイントで推移。プレカトーリオに係る憲法修正案の議会可決等を材料に上昇傾向となるが、オミクロン株の感染拡大による影響や、米国金融緩和縮小の動向等を材料に上下する展開。

月の後半は104,107～108,326で推移。オミクロン株拡大への懸念等を背景に下落傾向となった。

株価指数(Ibovespa)の推移



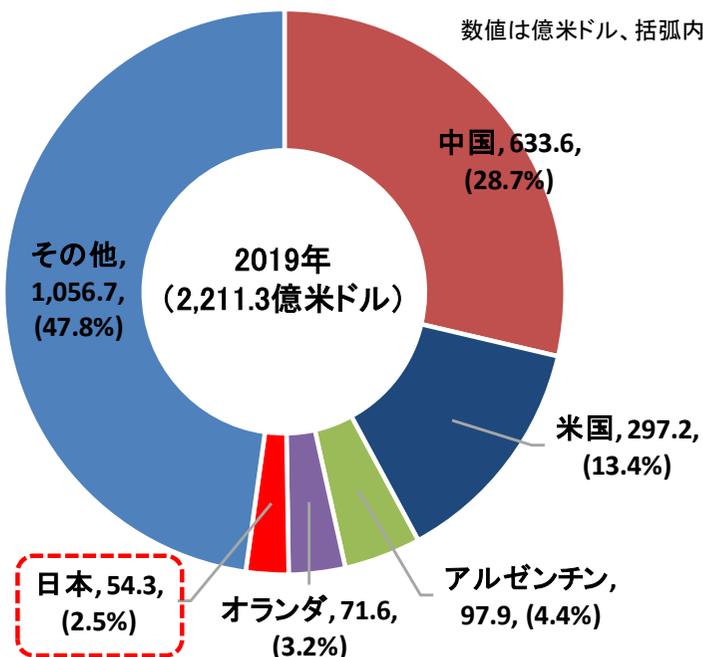
(出典) B3

Ⅲ. 貿易動向

ブラジルの貿易は、輸出、輸入ともに中国、米国、アルゼンチンが上位に占めている。2020年においては、日本は貿易相手国としては輸出、輸入ともに上位6位となっている。

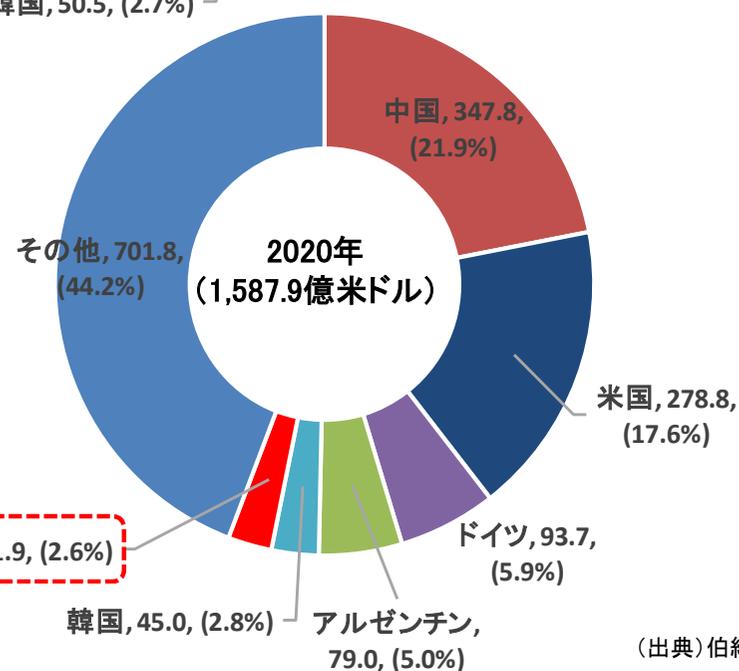
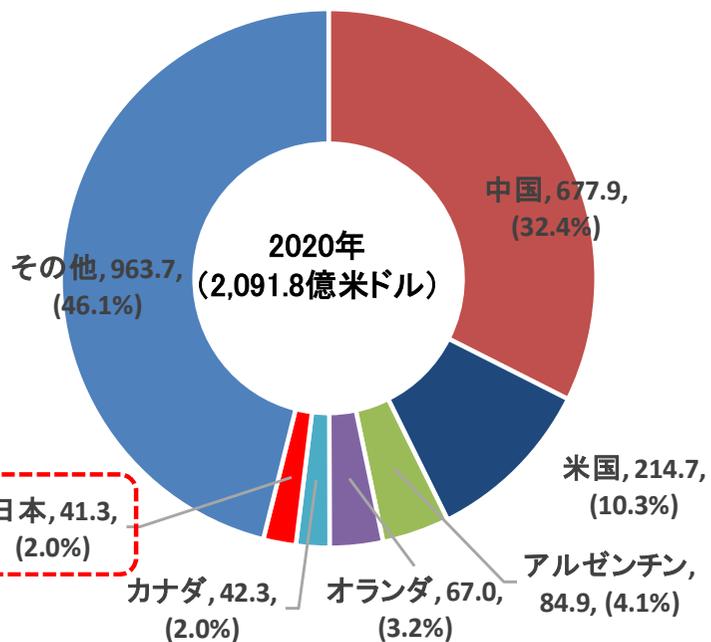
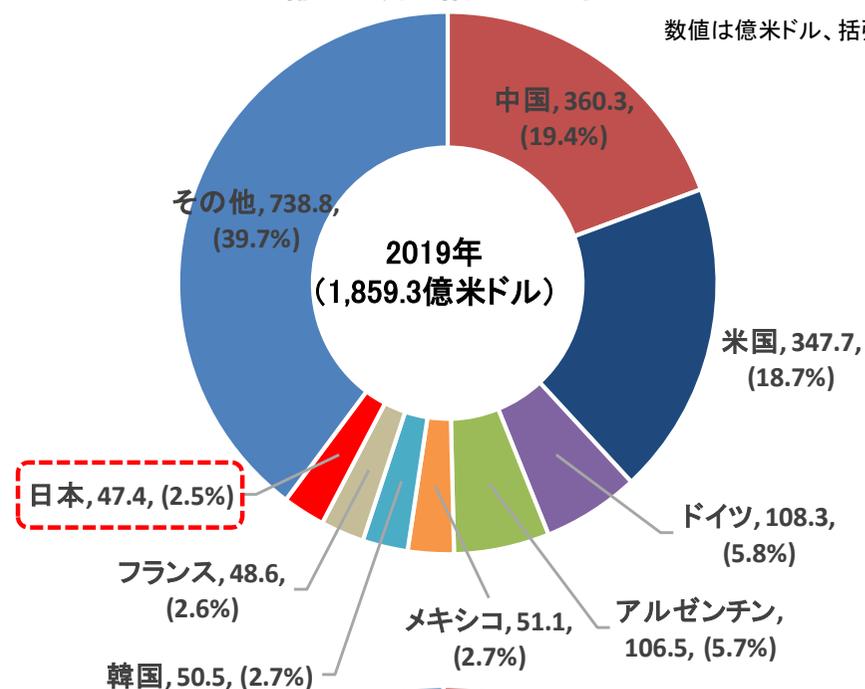
輸出額と構成比(国別)

数値は億米ドル、括弧内は構成比



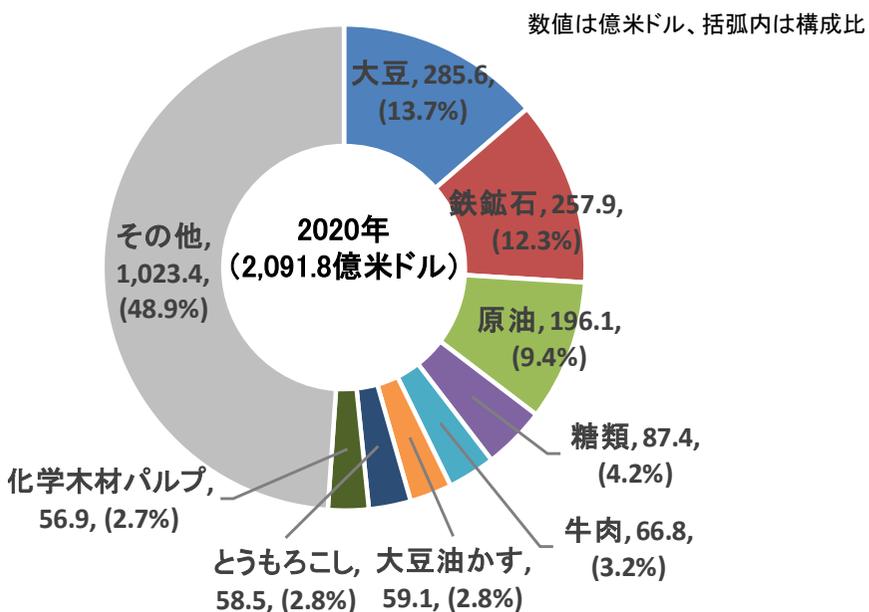
輸入額と構成比(国別)

数値は億米ドル、括弧内は構成比

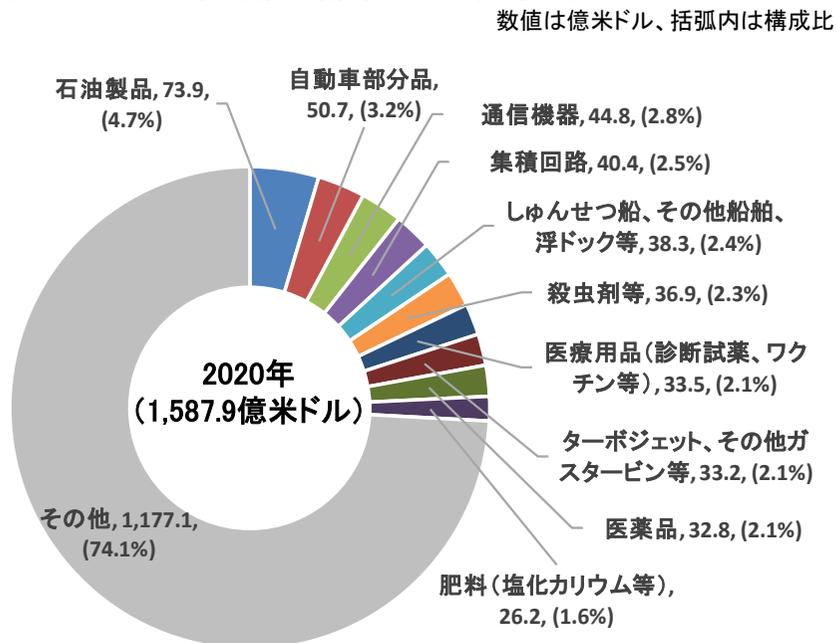


主要輸出品目は食品(大豆、肉類、糖類等)、資源(鉄鋼石、原油等)。主要輸入品目は石油製品、自動車部分品を中心に、電気機器や医療用品など幅広い品目にわたっている。

ブラジルの主要輸出品目と主要相手国



ブラジルの主要輸入品目と主要相手国



【大豆】

| | 億米ドル | 構成比(%) |
|--------|-------|--------|
| 合計 | 285.6 | 100.0 |
| ① 中国 | 209.0 | 73.2 |
| ② オランダ | 11.1 | 3.9 |
| ③ スペイン | 9.6 | 3.3 |
| ④ タイ | 9.1 | 3.2 |
| ⑤ トルコ | 7.2 | 2.5 |

【原油】

| | 億米ドル | 構成比(%) |
|---------|-------|--------|
| 合計 | 196.1 | 100.0 |
| ① 中国 | 113.5 | 57.8 |
| ② 米国 | 13.6 | 6.9 |
| ③ インド | 12.2 | 6.2 |
| ④ スイス | 10.4 | 5.3 |
| ⑤ ポルトガル | 9.1 | 4.6 |

【鉄鋼石】

| | 億米ドル | 構成比(%) |
|---------|-------|--------|
| 合計 | 257.9 | 100.0 |
| ① 中国 | 185.2 | 71.8 |
| ② マレーシア | 16.9 | 6.6 |
| ③ 日本 | 8.9 | 3.5 |
| ④ オマーン | 5.8 | 2.3 |
| ⑤ オランダ | 5.7 | 2.2 |

【糖類】

| | 億米ドル | 構成比(%) |
|-----------|------|--------|
| 合計 | 87.4 | 100.0 |
| ① 中国 | 12.9 | 14.8 |
| ② アルジェリア | 6.7 | 7.7 |
| ③ バングラデシュ | 6.3 | 7.2 |
| ④ インド | 4.8 | 5.5 |
| ⑤ インドネシア | 4.7 | 5.3 |

【石油製品】

| | 億米ドル | 構成比(%) |
|--------|------|--------|
| 合計 | 73.9 | 100.0 |
| ① 米国 | 53.2 | 72.0 |
| ② スペイン | 3.4 | 4.7 |
| ③ インド | 2.6 | 3.5 |
| ④ オランダ | 2.5 | 3.3 |
| ⑤ UAE | 1.6 | 2.2 |

【通信機器】

| | 億米ドル | 構成比(%) |
|--------|------|--------|
| 合計 | 44.8 | 100.0 |
| ① 中国 | 28.1 | 62.6 |
| ② ベトナム | 7.9 | 17.6 |
| ③ 米国 | 2.1 | 4.6 |
| ④ 香港 | 1.2 | 2.8 |
| ⑤ メキシコ | 1.2 | 2.6 |

【自動車部分品】

| | 億米ドル | 構成比(%) |
|--------|------|--------|
| 合計 | 50.7 | 100.0 |
| ① 日本 | 6.2 | 12.2 |
| ② 中国 | 6.0 | 11.9 |
| ③ ドイツ | 5.4 | 10.6 |
| ④ メキシコ | 5.3 | 10.5 |
| ⑤ 韓国 | 4.9 | 9.7 |

【集積回路】

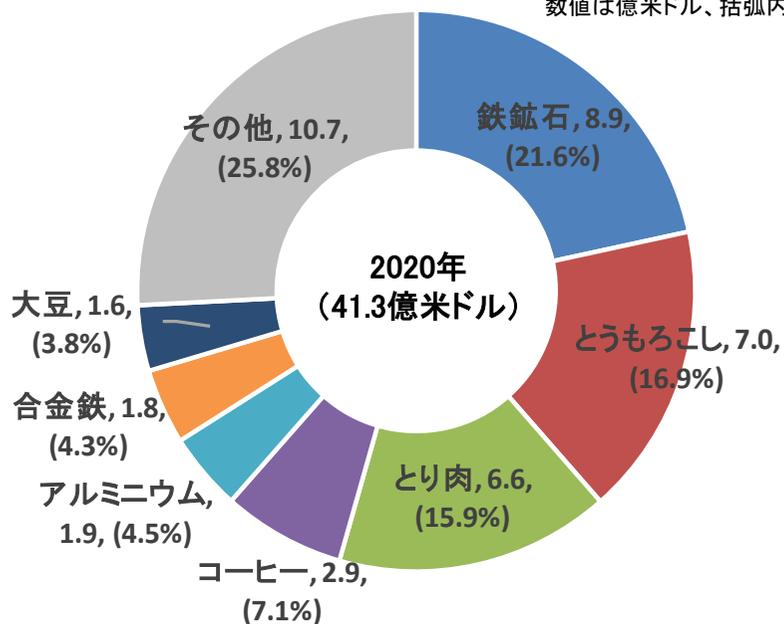
| | 億米ドル | 構成比(%) |
|---------|------|--------|
| 合計 | 40.4 | 100.0 |
| ① 韓国 | 10.2 | 25.3 |
| ② 中国 | 9.4 | 23.3 |
| ③ 台湾 | 8.4 | 20.9 |
| ④ ベトナム | 4.7 | 11.7 |
| ⑤ マレーシア | 2.4 | 5.9 |

対日貿易

対日貿易においては、主要輸出品目は資源（鉄鉱石、アルミニウム等）や食品（大豆、トウモロコシ、肉類、コーヒー等）、主要輸入品目は自動車関連（部分品、完成車）が中心となっている。

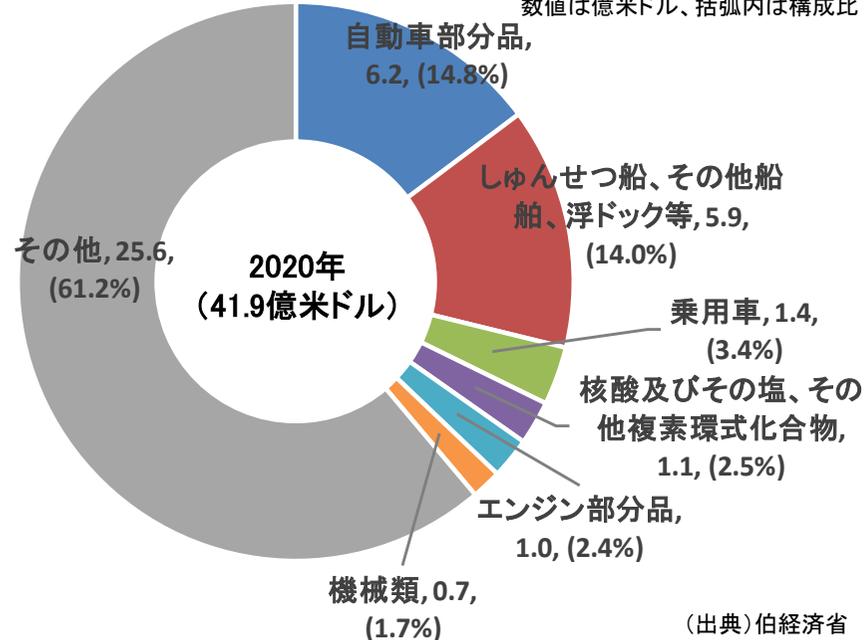
ブラジルの対日本主要輸出品目

数値は億米ドル、括弧内は構成比



ブラジルの対日本主要輸入品目

数値は億米ドル、括弧内は構成比



(出典) 伯経済省

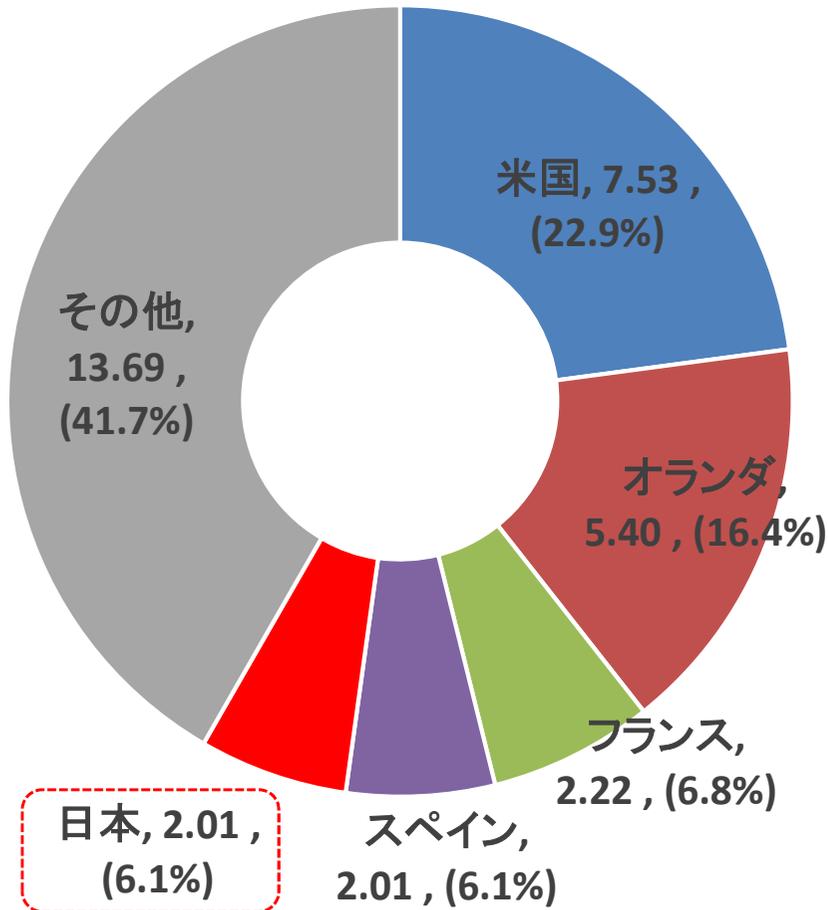
ブラジルの対日本主要輸出品目の日本側から見たブラジルの構成比(2020年)

| 品目 | 億円 | 構成比 (%) | 品目 | 億円 | 構成比 (%) | 品目 | 億円 | 構成比 (%) | 品目 | 億円 | 構成比 (%) |
|-----------------|----------|---------|-----------------|---------|---------|---------------|---------|---------|---------------|---------|---------|
| 【鉄鉱石】 | | | 【とうもろこし】 | | | 【とり肉】 | | | 【コーヒー】 | | |
| 合計 | 10,308.0 | 100.0 | 合計 | 3,515.9 | 100.0 | 合計 | 1,216.5 | 100.0 | 合計 | 1,257.8 | 100.0 |
| ① 豪州 | 5,382.6 | 52.2 | ① 米国 | 2,245.6 | 63.9 | ① <u>ブラジル</u> | 791.1 | 65.0 | ① <u>ブラジル</u> | 326.6 | 26.0 |
| ② <u>ブラジル</u> | 3,052.2 | 29.6 | ② <u>ブラジル</u> | 1,204.9 | 34.3 | ② タイ | 372.6 | 30.6 | ② コロンビア | 228.4 | 18.2 |
| ③ カナダ | 738.4 | 7.2 | ③ 南ア共和国 | 31.1 | 0.9 | ③ 米国 | 25.1 | 2.1 | ③ ベトナム | 181.4 | 14.4 |
| ④ 南ア共和国 | 371.0 | 3.6 | ④ ロシア | 16.4 | 0.5 | ④ ハンガリー | 9.8 | 0.8 | ④ グアテマラ | 106.6 | 8.5 |
| ⑤ インド | 208.8 | 2.0 | ⑤ フランス | 7.5 | 0.2 | ⑤ フランス | 9.2 | 0.8 | ⑤ エチオピア | 81.5 | 6.5 |
| 【アルミニウム】 | | | 【合金鉄】 | | | 【大豆】 | | | | | |
| 合計 | 3,825.1 | 100.0 | 合計 | 1,806.2 | 100.0 | 合計 | 1,591.6 | 100.0 | | | |
| ① ロシア | 728.2 | 19.0 | ① カザフスタン | 385.1 | 21.3 | ① 米国 | 1,158.3 | 72.8 | | | |
| ② 豪州 | 633.5 | 16.6 | ② <u>ブラジル</u> | 236.3 | 13.1 | ② カナダ | 221.4 | 13.9 | | | |
| ③ UAE | 527.3 | 13.8 | ③ ロシア | 191.0 | 10.6 | ③ <u>ブラジル</u> | 184.6 | 11.6 | | | |
| ④ NZ | 356.3 | 9.3 | ④ 南ア共和国 | 186.0 | 10.3 | ④ 中国 | 24.6 | 1.5 | | | |
| ⑤ 中国 | 269.5 | 7.0 | ⑤ インド | 147.3 | 8.2 | ⑤ ロシア | 2.3 | 0.1 | | | |
| ⑥ <u>ブラジル</u> | 226.8 | 5.9 | | | | | | | | | |

※日伯ともにHS番号4桁の数値。鉄鉱石2601、とうもろこし1005、とり肉0207、コーヒー0901、アルミニウム7601、合金鉄(フェロアロイ)7202、大豆1201

IV. 日伯投資

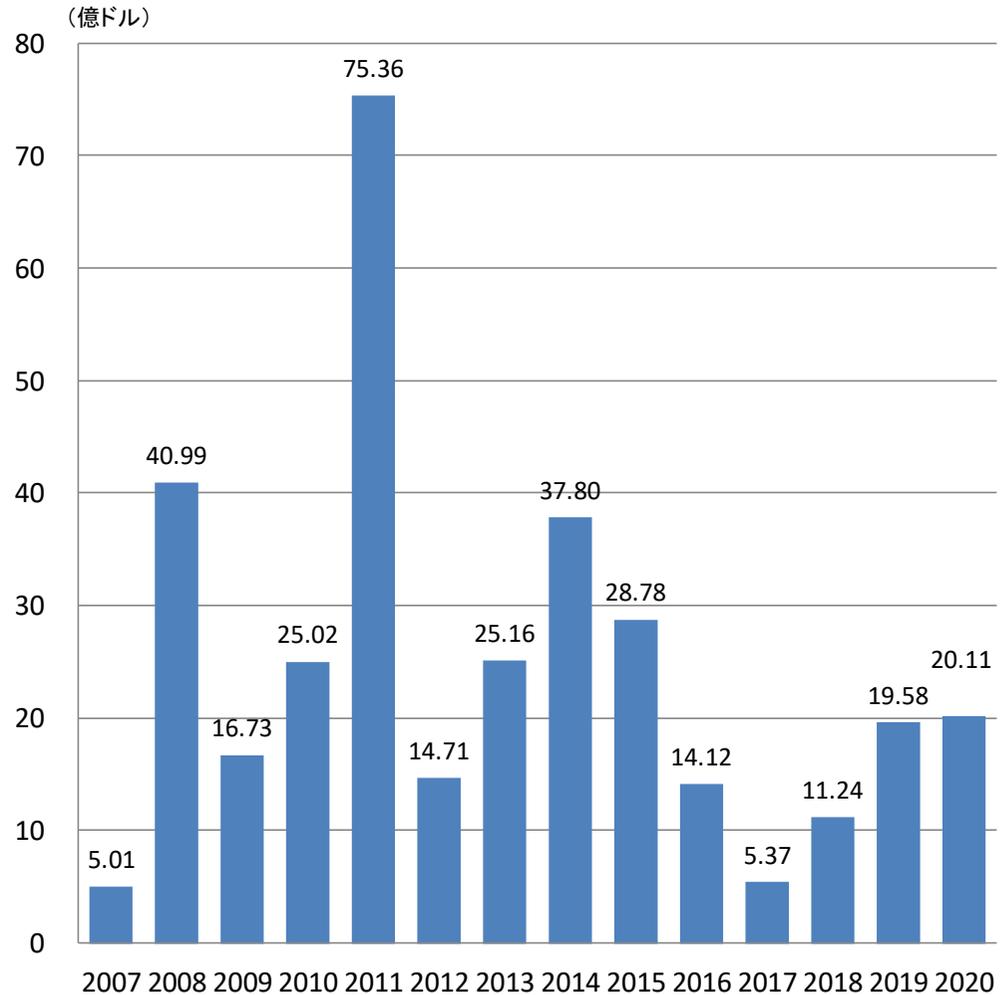
対ブラジル直接投資(資本参加分)の国別構成比
総額328.69億ドル(2020年)



(出典) 伯中央銀行

※ 中国:0.44%。但し、第三国経由の投資額が含まれていないため、実際よりも少ない数値となっている。

日本の対ブラジル直接投資(資本参加分)の推移



(出典) 伯中央銀行